

立会場所・土地の地番	土地所有者 住所 氏名 印	立会年月日	合意年月日
市 町 34番1、34番2	市 町 番 日本 太郎 印	年 4月3日	年 6月1日
市 町 23番、24番	市 町 番 東京 三郎	年 4月3日	年 一月一日
市 町 23番、24番	市 町 番 鈴木 一 印	年 一月一日	年 6月3日

土地境界図

土地の所在地

市 町 番
ほか

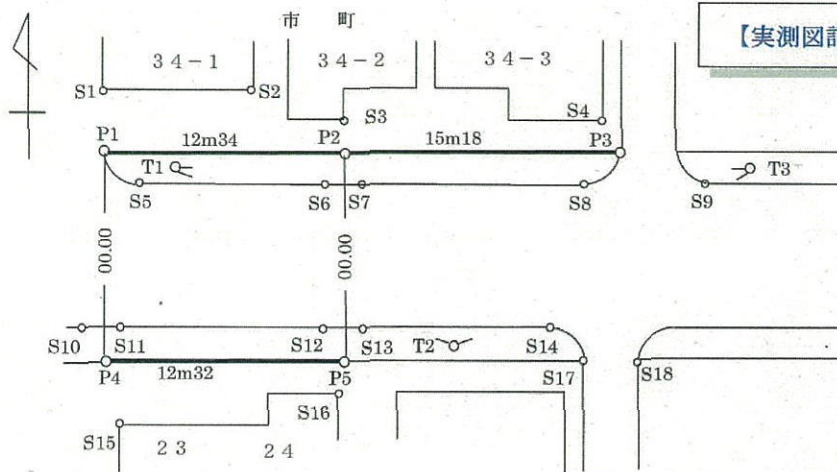
縮尺
1
250

- (注) ※ この欄は実務取扱者が記載する。
 ※ 合意した土地所在地番が複数ある場合は「ほか」を忘れずに書くこと。
 ※ 複数の区市町村を含む土地境界図はそれぞれの土地所在代表地番を記載する。

符号	X	Y	備考
P 1			市 石 ・
P 2			市 鎮
P 3			市プレート ・
P 4			みかげ石 ・
S 1			家屋角
S 2			ブロック塀
T 1			鉄
T 2			鉄
T 3			鉄

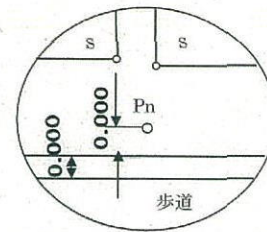
- (注) ※ 立会場所・土地の地番、住所、氏名、立会年月日、合意年月日は、本人が記名押印する。
 (申請者は実印)
 ※ 記名はボールペン等で記入する。ただし、官公庁、法人等はゴム印でも可とする。
 ※ 合意年月日は、本人が記名押印した日とする。
 ※ 土地所有者に相続等があった場合は、被相続人と相続人を記載する。

- (注) ※ 石標・プレートを記入する。
 ※ 座標欄の下に、既に確定済の境界点については「○○点は○年○号確定済点」と記入する。



【実測図記載例】

各P点の詳細図



【実測図（下図）提出の注意事項】

- ※ 下図は、記名押印前の本図の写しを持って、下図とする。
 ※ 本図を提出するときは、必ず下図を持参する。

- (注) ※ P点は一重丸で統一する。
 ※ 複数の丁目、字等を含む場合は、それぞれの丁目、字等を記入する。
 ※ 文字・数字の大きさは縦横 2.0mm 以上で鮮明に読み、点間は太さ 0.3mm の線とする。
 ※ 辺長は民地側に記入し、P点間距離は小数点以下3位切捨てとする。
 ※ 境界点や引照点が図面上で分かりづらい場合、もしくは書ききれない場合は詳細図を記載する。
 ※ 機械点は3点以上記載すること。

- ※ 作成者欄の押印は調査士の場合は職印で押印し、法人の場合は代表者の登録印で押印する
 (申出書と一致させる)。

作成者	印
測量年月日	年 月 日

- ※ 立会日以降合意年月日以前の年月日を記載する。

